

## トヨタ自動車、ALBERT に出資 -自動運転開発のデータ分析分野で連携し、開発を更に加速-

トヨタ自動車株式会社（以下、トヨタ）と株式会社 ALBERT（以下、ALBERT）は、主に自動運転技術の先行開発分野における、ビッグデータ分析において業務提携し、トヨタが ALBERT に出資することで合意しました。出資金額は約 4 億円で、トヨタは、2018 年 5 月 30 日付で、ALBERT が第三者割当増資により発行する株式を引き受けます。

トヨタは、自動運転技術開発を促進するために、2016 年 1 月に「Toyota Research Institute Inc. (TRI、先端研究)」を米国に設立、2018 年 3 月に新会社「Toyota Research Institute Advanced Development (TRI-AD、先行開発)」を東京に設立するなど、これまでにないスピードで体制の整備と共に、AI を中心とした技術開発を進めています。

一方 ALBERT は、ビッグデータ分析領域におけるデータサイエンティスト\*集団として、企業に最適なソリューションの提供を 2005 年から続けており、近年では自動運転技術開発における画像解析分野でも積極的な展開を進めています。今回両社が提携することにより、トヨタの AI 技術開発における、データ分析プロセス等を強化することが可能となり、さらなるトヨタの自動運転技術開発の加速が実現できると考えています。

トヨタの先進技術開発カンパニーで自動運転開発を担当する鯉淵健常務理事は、「『安全で、スムーズな移動を、全ての方に』というビジョン達成には、AI 技術が必須であると考えています。そして AI 技術の性能を引き出すには、大量のデータをうまく扱うことが必要です。今回の連携がトヨタの自動運転技術開発を加速させることを期待しています。」と語りました。

ALBERT の松本壮志社長は「自動運転技術開発をはじめとする技術革新が社会に実装され、新たな価値創造がなされるためには、AI および機械学習技術を中心とする高度な分析力並びにその実現性を追求するデータサイエンティストが必要不可欠です。今後も当社は、分析の高度化を目的とした、優秀なデータサイエンティスト集団の強化等を通じて『社会に求められる安全な技術革新』を支援してまいります。」と語りました。

\*データサイエンティスト：

データサイエンス力、データエンジニアリング力をベースにデータから価値を創出し、ビジネス課題に答えを出すプロフェッショナルのこと。

<トヨタ自動車株式会社の概要>

所在地	愛知県豊田市トヨタ町1番地
代表者	取締役社長 豊田 章男
設立年月日	昭和12年8月28日
資本金	6,354億円（平成30年3月31日現在）
事業内容	自動車及び関連部品の設計、製造及び販売
従業員数	364,445名（平成29年3月31日現在）

以上